

未来に向かって

広島県立庄原特別支援学校
高等部第3学年 久川 優香

「未来に向かって」

庄原特別支援学校

高等部第3学年 久川 優香

私は、慣れない場所やよく知らない人と話をするこ
とが、とても苦手です。高等部一年の頃は、クラスの
友だちと話をすることもあまりなく、困ったことがあ
ると椅子に座ったまま固まってしまいうこともありま
した。

私は、自宅と学校が遠いので、さくら学園に入所し
て、学校へ通っています。一、二年生の頃は、いやな
ことがあったり、イライラした時は学校の帰り道に、
勝手に家へ歩いて帰ろうとしたことが、何回かありま
した。学園の職員さんも学校の先生も、とても心配を
して山道を探してくれました。しかし、その頃の私は、

自分の気持ちを話したり、感謝の気持ちを持ったりすることはできませんでした。

高等部から特別支援学校へ通っている私は、一般就労を目指していました。そのため、一年生の時に、三日間の実習を庄原のホテルですることになりました。作業の内容は、ベッドメイキングです。ベッドメイキングは、それぞれの階で指導してくださる方が違っていました。優しく教えてくださるのですが、やり方が少しずつ違っていたので、私はパニックを起こして、部屋の中に座りこんだまま動けなくなりました。担任の先生に迎えにきてもらって、そのまま帰りました。実習はそれで終わりになりました。悔しい、悲しい気持ちがあっても、それを言葉にして言うことはできませんでした。

二年生になっても、私は言いたいことや思っている

ことが言えないままでした。実習も一年生のときのことを思い出すと、怖くなって実習に行くのが不安でした。そんな私に、母と担任の先生が、「青空」という事業所で実習することをすすめてくれました。「青空」は、私の兄が働いている事業所だったので知っていたし、実習の打ち合わせ会でも、お弁当の盛り付けやお菓子作りなど楽しそうな作業があることがわかって、少し楽しみになりました。今度の実習は、頑張ろうと思いました。

しかし、実習の一日目に送迎の車から動くことができなくなりました。そのまま昼食も食べず、固まったまま一日目は終わりました。「青空」の職員さんは、優しく根気強く、私を待ってくださったのですが、私は石のように固まったままでした。兄も心配して、私に声をかけに来てくれました。でも、私は動けません

でした。二日目の午後、さくら学園へお菓子の配達をするので、一緒に行こうと声をかけてもらいました。それでやっと、私は作業に参加することができました。一緒に行って、学園の職員さんにお菓子の販売をしました。三日目からは、お弁当の盛り付けや野菜の下処理、軽作業など、朝から実習に参加することができました。

最初はうまくいかなかったけれど、五日間の実習をやって、反省会で作業所の職員さんや学園の職員さん、担任の先生から「よく頑張ったね。」と言ってもらって、とてもうれしかったし、少しだけ自信がつかえました。

三年生になった私は、黙って固まるということがなくなりました。クラスの友だちに声をかけたり、自分の意見を言ったりすることができるようになりました。

た。卒業したら「青空」で、一般就労を目指して働くことに決めて、もう一度実習に行きました。

実習では、一日目から空缶つぶしやお菓子作り、お弁当の盛り付けなど、たくさんの作業をしましたが、どの作業もいっしょうけんめいがんばりました。実習中に一度、お菓子作りの時にクリームを上手にしぼることができなくて落ち込んでしまいました。でも、少ししたら気持ちを切り替えて次の作業をすることができたので、職員さんから「気持ちの切り替えが上手になったね。」とほめてもらいました。そして、五日目に「青空」から初めて行く工場へ出向して、チューブ通しやシール貼りなどの内職作業をしました。初めての場所だったのに、一日落ち着いて作業をするこどができました。行く前は、とても不安だったけど、最後まで頑張ることができてうれしかったし、自信を

もつことができました。

私は、今でも慣れない場所やよく知らない人が苦手です。でも、私のことをいつも励ましたり、勇気をくれたりする家族やたくさんのおかげで、苦手だったり、できなかつたりしたことが、少しずつできるようになっていきます。これからも、たくさんの人に助けてもらっていることを忘れずにがんばっていききたいです。

< 指導者の言葉 >

生活単元学習の進路学習で、職場実習の振り返りをする中で自分の課題と成果について考え発表する授業で書いた作文です。

指導に当たっては、自分の実習ファイルをもとに具体的な事柄（時期や期間、作業内容、評価や課題等）を形式に沿ってなるべく多く書き出し、作文を書く材料としました。

最初は報告の文章だったものが、その時の本人の思いを尋ねたり、思い出すよう促したりすることで、内容に深まりが出てきました。

職場実習を通して、自分の課題に直面し苦悩する姿や、課題を少しずつ克服していく過程が丁寧に書かれています。また、単なる実習の振り返りにとどまらず、自分の将来に向けた決意やこれからの挑戦を想像させる文章になっています。